

TOTO

角形セルフリム洗面器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	----------------------------------	--	---------------------------------------

注意	
	<p>洗面器にかたい物を落とさない 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>洗面器に強い力や衝撃を与えない 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>陶器に熱湯を流さない 熱湯を使用しますと、洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>凍結のおそれがある場合は、器具周囲の温度が氷点下にならないようにする 洗面器が凍結すると破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2 カウンターについて

- 当社対応カウンターは、総合カタログをご参照ください。
- 当社製以外のカウンターにセットされる場合は、カウンター厚みを10~20mmの範囲としてください。
- カウンターの切り欠き形状については、設計施工資料集をご参照ください。(13.02以降) また、別途型紙(型紙No.4053)を準備しておりますので当社の支社、支店、営業所にお問い合わせください。

3 部材の確認

洗面器	施工説明書	クッション材

※別途手配品：
水栓金具他

4-1 完成図

カウンター高さ800(溢れ縁高さ750)壁給水		カウンター高さ800(溢れ縁高さ750)床給水	
 (単位: mm)		 (単位: mm)	
水栓品番	A B C D	水栓品番	A B C D
TLC31-1F	100±10 100±10 - 350±10	TLC31-1F	100±10 100±10 - 70±10
TLC11A	- 100±10 - 350±10	TLC11A	- 100±10 - 70±10
TEN12A	- 100±10 - 350±10	TEN12A	- 100±10 - 60
TEN22A	- 100 95±25 350±10	TEN22A	- 100 95±25 60

4-2

カウンター高さ850(溢れ縁高さ800)壁給水		カウンター高さ850(溢れ縁高さ800)床給水	
 (単位: mm)		 (単位: mm)	
水栓品番	A B C D	水栓品番	A B C D
TLC31-1F	100±10 100±10 - 400±10	TLC31-1F	100±10 100±10 - 70±10
TLC11A	- 100±10 - 400±10	TLC11A	- 100±10 - 70±10
TEN12A	- 100±10 - 400±10	TEN12A	- 100±10 - 60
TEN22A	- 100 95±25 400±10	TEN22A	- 100 95±25 60

5-1 施工手順

1. 取り付け前の準備

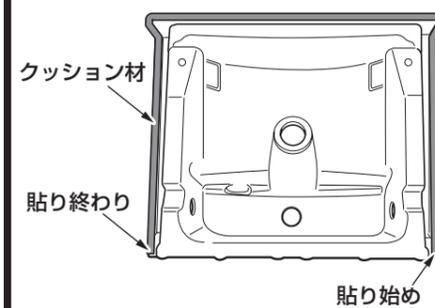
- 施工前に、給水管および排水管取り出し位置が所定の位置にあることを確認する。
- 排水管を壁面または床面と同一面で切断する。
排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。
(排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください)
- 器具を取り付ける際に、必ず給水管内のごみ・砂を完全に洗い出す。

注意	
	<p>クッション材の取り付けで洗面器上面を下側に向ける際は、段ボールなどを敷き洗面器に傷が付かないようにする 洗面器が破損して、負傷するおそれがあります。</p>

5-2

2. クッション材の貼り付け

- ・貼り付け面の汚れ・ほこりなど十分にふき取り、クッション材のセパレータを剥がしながら、洗面器下面にクッション材を貼り付ける。
- ・クッション材は、洗面器後部から貼り始め、反対側の洗面器後部で貼り終わる。



注意

●洗面器下面の内側コーナー部にあわせ貼り付けてください。設置後にクッション材がはみ出すことがあります。

クッション材
あわせる

3. 水栓金具の取り付け

●(例)TLC11Aの場合

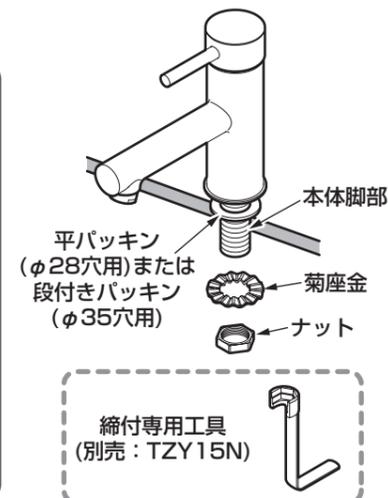
注意

パッキンを必ず取り付ける
水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

取付穴φ35に取り付ける場合、平パッキンを同梱の段付きパッキンに取り替える

平パッキンのまま取付穴φ35に取り付けると、水漏れ、ガタツキの原因となります。

平パッキン (φ28穴用) 段付きパッキン (φ35穴用)



注意

取付詳細については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

注意

固定には別売の締付専用工具(TZY15N)を利用して確実に締め付けてください。

裏面へつづく

3. 水栓金具の取り付け

●(例)TLC31-1Fの場合

締付専用工具
(別売：TZ33N)

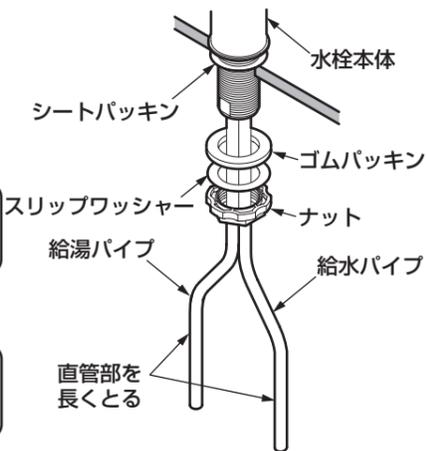


注意

固定には別売の締付専用工具(TZ33N)を利用して確実に締め付けてください。

注意

取付詳細については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。



(注) その他の水栓金具の取り付けについては、水栓金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

4. 排水金具(排水口部)取り付け

注意

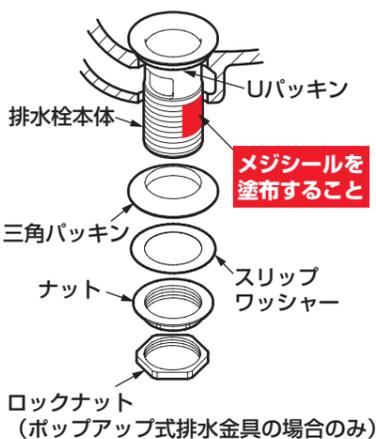
三角パッキンの方向に注意して取り付ける

水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

ナットは三角パッキンの弾性を失わない程度に締め付ける

強く締めすぎると、洗面器が破損してけがをするおそれがあります。



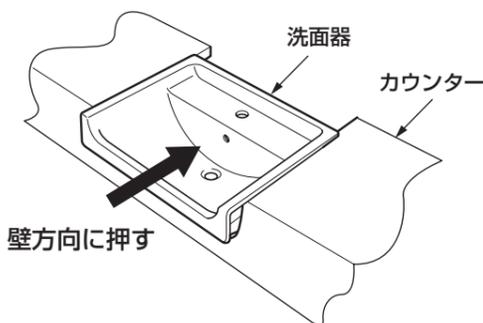
注意

取付詳細については、排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

(注) その他の排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

5. 洗面器の取り付け

①洗面器をカウンターに仮置きし、洗面器バック面が壁面に、または、洗面器前リム面がエプロン面に当たるまで壁方向に押す。



<カウンター角の面取り>

切り込み幅は現物にあわせる

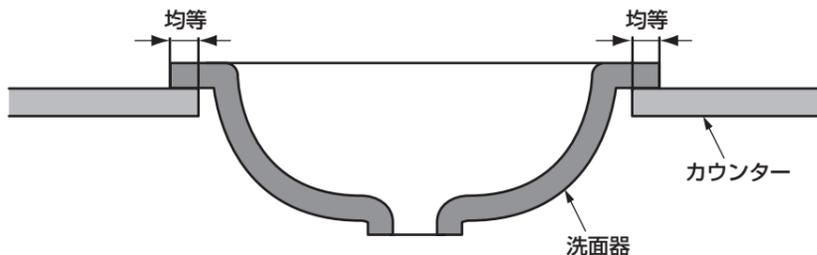
R5

壁方向に押す

注意

カウンター角の面取りは確実に実施願います。面取り量が少ないと洗面器の角に接触し壁面のすき間が極端に大きくなります。

②カウンターへの載り代が均等になるよう、洗面器の位置決めをする。



※クッション材がはみ出していないことを確認してください。

6. 止水栓の取り付け

●(例) TLC11Aの場合

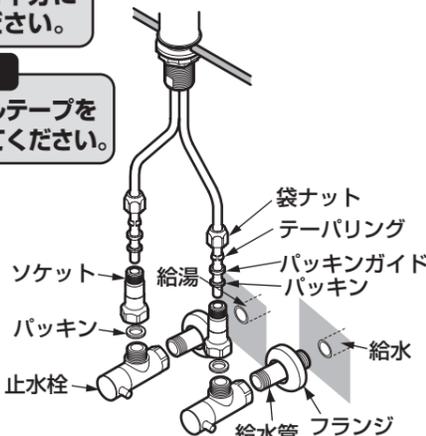
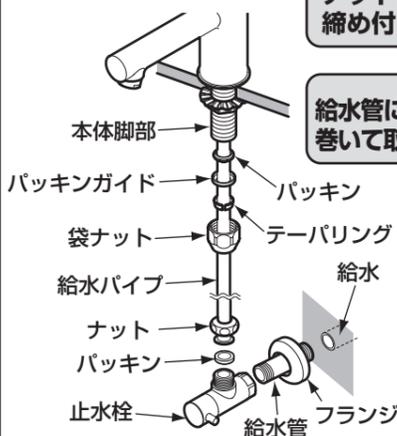
注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。

注意

給水管にはシールテープを巻いて取り付けてください。

●(例) TLC31-1Fの場合

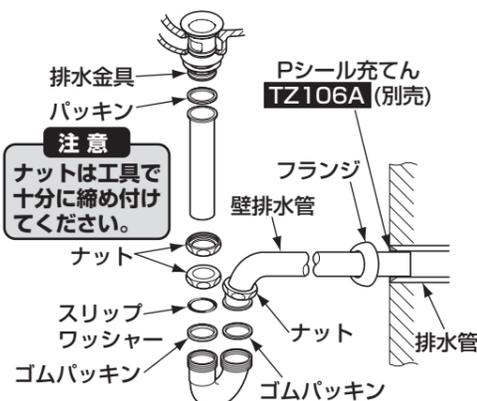


7. 排水金具の取り付け

●目皿式排水金具の場合

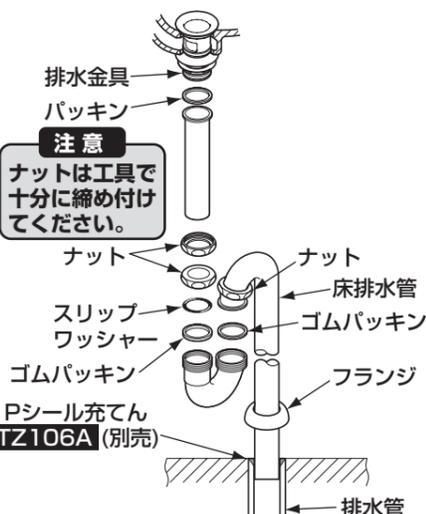
<壁排水金具>

<床排水金具>



注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。



注意

ナットは工具で十分に締め付けてください。

注意

排水金具は洗面器と排水管に仮固定して、排水金具が前後左右方向に傾いていないことを確認したあと、すべてのナットを締め込んで本固定してください。

注意

壁排水管および床排水管は、施工誤差による取付不良防止のため、長さを長めに設定しております。取り付け時は差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコなどで必要な長さに切断して使用してください。

6 メジシールの充てん

●カウンターと洗面器にマスキングテープを貼り、洗面器周りにメジシールまたはシリコン系シーリング材(防カビタイプ)を充てんしてください。

メジシール範囲
(洗面器全周)

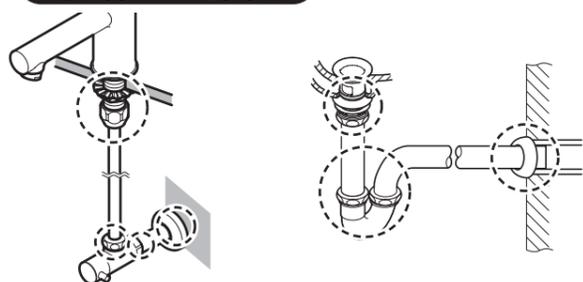


7 取り付け完了後の確認

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

●通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。



ガタツキの確認

●カウンター・洗面器が確実に固定されていることを確認してください。